

BOOST!!

B6J Aged (加齢) マウス 加齢研究ブースト キャンペーン



疾患は加齢と共に増加するのに、若い研究モデルだけで良いのか？

この疑問から、日本チャールス・リバーがいち早く提供を開始した B6J Aged マウスは老化研究だけでなく、あらゆる領域の新たな研究プラットフォームとして活用されています。2021年度の研究活動を促進するため、加齢研究ブーストキャンペーンを実施いたします。

購入匹数の **50%** 相当をさらに無料で提供

- キャンペーン対象：** アカデミア機関にご所属のお客様（ご不明な点はお問い合わせください）
- 対象系統 / 規格：** C57BL/6J Aged 52 週齢以上の在庫動物
- キャンペーン期間：** 2021年3月1日～6月30日納品分
- 予約申込方法：** WEBサイトの専用フォームからの申込み
もしくは 営業担当者 / 代理店担当者 へご連絡ください
- キャンペーン適用例：** 30匹（購入） + 15匹（無料） = 45匹（納品）

加齢マウスを使った新しい実験を試行するチャンスです

B6J Aged の 参考資料



研究に使用される老齢C57BL/6Jマウス 考察、応用、ならびに最善の実践 | PDF

- ✓ マウスはいつ「老齢」になるのか？マウスとヒトの生涯の比較
- ✓ 老齢マウスを用いた研究のタイプ
- ✓ 加齢にともなう「正常な」表現型を明確にするための資料
- ✓ C57BL/6J マウスにおいてよく見られる加齢にともなう健康状態
- ✓ 再現性に影響をおよぼす実験の要因



老齢マウスを用いる研究を計画するために必要な8つの検討事項 | PDF

1. 何匹のマウスが必要か？
2. いつ実験を開始すべきか？
3. マウスの健康状態を知ること
4. マウスの個体識別はどのようにしたらよいか？
5. 雌雄差
6. 目的とする研究に最も適した試験方法は？
7. 試験方法の正当化および統計解析
8. 実験のエンドポイントについて検討すること



マウスの研究において遺伝的浮動を最小化し、

実験の再現性を最大化するための戦略 | PDF

- ✓ マウスを使った研究における遺伝的安定性の重要性
- ✓ マウスコロニーにおける遺伝的浮動の出現機序とその頻度
- ✓ 遺伝的浮動が起こった指標：亜系統の命名
- ✓ 遺伝的背景が研究結果に影響を及ぼす
- ✓ C57BL/6 亜系統 / 遺伝的浮動を抑制するコロニー管理の実施
- ✓ 遺伝的背景の検証 / 遺伝的浮動を抑制する高度な方法
- ✓ 欧州および日本のチャールスリバー社によって繁殖されたJAX™ マウス

販売代理店

生産元

日本チャールス・リバー株式会社
 〒222-0033
 横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル11F
 TEL: 045(474)9340 FAX: 045(474)9341
 E-mail: AskCRJ@crl.com